



歌に心を込めて

いよいよ卒業式まであと1週間になりました。前回の出校日から歌の練習をしています。本日から礼法指導や在校生を含めた全校での練習が始まりました。その様子を見ていて、卒業生95名のために学校全体が動いてくれているのを実感します。そんなみなさんに応えるためには卒業生はどうしたらいいでしょう。

当日はご来賓のご臨席を賜り、肅々と儀式が進行していきます。そんな中、卒業生の晴れ姿を見せられるのは、HR担任からの呼名に対する返事と歌しかありません。学び舎から巣立っていく自分の成長した姿をご列席の皆様、保護者、在校生にまずは返事で見せるのです。返事というものは、声を出すということであり、その声にはその人の心が見えます。まず自分に自信が無い人は声を出せません。3年間をやりきった人は大きな声が出るでしょう。担任の呼名に対し、感謝の大きな声が出るはずです。後輩の手本となるような声で返事をしてください。生徒会、農ク、部活動、地元の後輩が聞いています。「私はここに居ます！」という存在感を示す場でもあります。まさに、学年目標の「地立」です。恥ずかしくない態度を見せて欲しいと思います。

そして、歌です。卒業生代表の答辞が終わり、式歌の「蛍の光」、「校歌」と続く式の流れは毎年、感動を呼びます。そういう式にするにはみなさんが心を込めて歌うことが大事なのです。3年間いろいろあったことを思いだしながら、卒業できる喜びを皆様への感謝とともに思いを込めて歌う、高校生活最後、様々な人との別れに対し思いを込めて歌うことです。校歌は入学時から3年間歌ってきたもので、思い入れがあるものです。みなさんも小学校の校歌、中学校の校歌を覚えているでしょう。母校の校歌はその歌を歌うと、その頃にタイムスリップしたような気持ちになります。いつの日か、同窓会などで久しぶりに集まった時など全員に共通するものとして校歌があります。卒業すると名久井農業高校がみなさんの母校になるのです。昨年、金足農業高校硬式野球部の校歌を歌う際の激反りの歌い方に注目が集まりましたが、そこまでいかなくとも最後は全力で歌い上げてください。それができるからこそ卒業生であり、ご列席の皆様に応える事になるのだと思います。私も、みなさんに私の嬉しい気持ちが届け！とばかりに歌いたいと思います。

さて、歌の話をしてきましたが、紹介したい歌・歌詞があります。

唐突ですが、みなさんは昨年度人事異動で本校から転任された事務の高嶋さんを覚えていますか？ みなさんにとっては放課後、野菜や果樹の販売がある時、紹介の校内放送でお馴染みだった方です。その他にもさわやかな笑顔と優しい紳士的な対応をされる方で、お世話になったのを覚えている生徒もいると思います。

その高嶋さんが、送別会の席のご挨拶で話をされていました。

そのお話は自分の仕事の意味、自分の仕事に誇りを持つということです。(概略)
その場で高嶋さんが紹介して下さった歌がこの歌、この歌詞です。

僕のした単純作業が この世界を回り回って
まだ出会ったこともない人の笑い声を作ってゆく
そんな些細な生き甲斐が 日常に彩りを加える
～中略～
なんてことのない作業が この世界を回り回って
何処の誰かも知らない人の笑い声を作ってゆく
～中略～
なんてことのない作業が回り回り回って
今 僕の目の前の人の笑い顔を作ってゆく
そんな確かな生き甲斐は 日常に彩りを加える

ミスチルの「彩り」という歌です。私は高嶋さんの話(その他にも心にしみる話がありました。)を聞いて、とても感動するとともに、考えさせられました。仕事をしていると、「何でこんな仕事。これ意味あるの？」など自分のしている仕事に疑問や不安、不満を持つことがあります。「何の役に立っているのか。何のために働いているのか。」など自分の働いている意義なども考えたりすることがあります。でもこの歌・歌詞にはその答えがあるように思いました。

みなさんも多くの方は卒業と同時に就職、その他の人もいずれ就職します。もしかしたら働いていて疑問を感じる時があるかもしれません。その時にはこの歌詞を思い出してみてください。自分の仕事は誰かのためになっているんだと自分の仕事に誇りを持って働くことが出来ると思います。

もう一つ、ゆずの「友 ～旅立ちの時～」です。これは娘から教えてもらいました。言うまでもなく、卒業式では友達との別れがあります。高校生活の思い出のシーンには常に仲の良い友達との触れ合いや語らいがあったでしょう。友達と話したり、ふざけあったりすることが楽しくて登校していた人もいたかもしれません。そんな友達は今後の人生でもかけがえのない友になるはずですよ。

友 今君が見上げる空は どんな色に見えていますか
友 僕たちに出来ることは 限りあるかも知れないけれど
～中略～
友 進むべき道の先に どんなことが待っていても
友 この歌を思い出して 僕らが繋ぐこの歌を
～中略～
友 さようならそしてありがとう 再び会えるその時まで
友 僕たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いている
同じ空の下 どこかで僕たちは いつも繋がっている

友はあなたの宝物